

平成 27 年 度 一 般 採 用 試 験 前 期

国 語 試 験 問 題

(人文・社会科学専攻)

(注 意)

1. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。
2. 設問ごとに記載してある解答方法の指示に従い、マークセンス解答用紙又は記述式解答用紙に記入及びマークすること。(記述式の問題は、すべて黒枠で囲った形で示されているので注意すること。)
3. 古文及び漢文は、1つの本文の設問中にマークと記述の両方が含まれているので注意すること。

(マークセンス注意)

1. マークセンス問題解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

例 【氏名】 防大 渚 【受験番号】 神奈川県W1234 の場合

※氏名及び受験番号の記入について

	姓	名
フリガナ	ボウダイ	ナギサ
漢 字	防大	渚

	志願地本名	専攻区分	番 号
受験番号	神奈川県	人	W1234

※受験番号等のマークについて (女子受験者は、番号のWについてはマークしなくてよい。)

志願地本名	札幌：(01)	福島：(10)	専攻区分	番 号				
	函館：(02)	茨城：(11)		人社 ●	(0)	(0)	(0)	(0)
	旭川：(03)	栃木：(12)		理工 (2)	●	(1)	(1)	(1)
	帯広：(04)	群馬：(13)		性別	(2)	●	(2)	(2)
	青森：(05)	埼玉：(14)		男 (1)	(3)	(3)	●	(3)
	岩手：(06)	千葉：(15)		女 ●	(4)	(4)	(4)	●
	宮城：(07)	東京：(16)		男 (1)	(5)	(5)	(5)	(5)
	秋田：(08)	神奈川：●		女 ●	(6)	(6)	(6)	(6)
	山形：(09)	新潟：(18)			(7)	(7)	(7)	(7)
					(8)	(8)	(8)	(8)
			(9)	(9)	(9)	(9)		

2. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答マーク欄にマークすること。
例えば、**1** と表示のある問題に対して(3)と解答する場合は、次の例のように **1** の解答マーク欄の **3** にマークすること。

例

解 答 マ ー ク 欄					
1	(1)	(2)	●	(4)	(5)

(記述式注意)

1. 各問題の設問の数に注意すること。
2. 解答はすべて別紙解答用紙の定められた欄におさまるように記入すること。
なお、一行に相当する枠に、二行以上にわたって記入しないこと。正しく記入していない場合には採点されないので注意すること。
3. 解答中の誤字(仮名づかひの誤りも含む)は、その程度に応じて減点する。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

*(注) 芸能座——中世において、貴族や武家、社寺などの保護を受け、営業活動を行なった芸能者の集団。

東照宮——徳川家康、死後、東照大権現の神号を贈られたことによる呼称。

『当道大記録』——江戸時代後期に浮嶋源蔵によって編まれた当道に関する記録集成の書。

式楽——儀式に用いる音楽や舞踊。

北野社——京都市上京区にある北野天満宮。

参籠——神社仏閣に一定期間こもって、祈願すること。

正本——規範となる原本。

奥書——書物などの巻末に書かれた文。書写の年月日、由来、書写者などが書かれている。

評論——言い争い。論争。

清聚庵——当道の中央統治機関である職屋敷内にあつた歴代惣檢校の位牌所。

摂津大覚寺文書——兵庫県尼崎市の大覚寺に伝わる文書。

竜門文庫——奈良県吉野の実業家阪本猷によって収集された古典籍を収める文庫。

太平記——十四世紀後半に成立した、南北朝期の動乱を描いた軍記物語。

嫡流——代々嫡子によって家督を伝えてきた家柄。

『我衣』——加藤玄悦編著の江戸時代後期の随筆。

『お湯殿上の日記』——宮中の女官によって、室町時代から江戸時代にわたって書き継がれた日記。

八幡太郎義家——平安時代後期の武将、源義家。八幡太郎の名は石清水八幡宮で元服したことに由来する。

金剛山——奈良県と大阪府の境にある山。

相模入道——鎌倉幕府十四代執権、北条高時。相模守となり、出家したためにそう呼ばれた。

行迹——行なってきた事柄。

マークセンス

1 空欄 A に入る言葉として、本文の論旨に照らして、最も適当なもの

を次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

(1) 「御礼申し上げ」

(2) 「御尋ね」により

(3) 「天下御一統」により

(4) 「先例の通り」

(5) 「当道の格式」のため

2 空欄 B に入る言葉として、本文の論旨に照らして、最も適当なもの

を次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

(1) 定一による「平家」正本の清書や伝授は、当道(座)の発展と密接にかかわる問題だった

(2) 覚一による「平家」正本の作成と伝授は、当道(座)の確立と不可分の問題だった

(3) 覚一による「平家」正本の秘蔵や秘匿は、当道(座)の発展と結びつきがたい要素だった

(4) 定一による「平家」正本の清書と秘匿は、当道(座)の確立に必須の要素だった

(5) 定一による「平家」正本の清書と秘蔵は、当道(座)の存続に不可欠な要素だった

3

空欄 C

(三箇所)に入る言葉として、本文の論旨に照らして、最も

適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 芸能
- (2) 物語
- (3) 理想
- (4) 神話
- (5) 伝承

4

傍線部「時代の芸能としての現時点的な地位」とあるが、その具体例として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 北条氏の滅亡後、内乱が公家一統政治として落着せず、足利と新田の覇権抗争へと展開したこと。
- (2) 徳川家康が、源氏として、足利家にかわって將軍家を継承し、全国に覇をとらえたこと。
- (3) 清書された覚一伝授の正本が足利義満に進上されたことで、当道の内部支配が強化されたこと。
- (4) 新たな権力の形態として、清和源氏である足利家が全国の武士に号令を発することができたこと。
- (5) 反北条の全国的な内乱が、ともに清和源氏の嫡流家である足利と新田の傘下に糾合されたこと。

5

本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 古代の天皇神話の役割を代替する新しい芸能としての「平家」は、天皇家とも摂関家とも異なる新たな権力を志向した足利義満にとって、自らを権威づける格好の道具となった。
- (2) 「平家」が、大衆あいての芸能としてよりも、將軍家の式楽として存在したのは、徳川家康が征夷大將軍に任じられ、当道の保護政策を打ち出したことにその淵源がある。
- (3) 定一によって「ゆめゆめ他所に出だすべからず」と戒められた当道の正本が、足利義満に進上されたことは、その支配権が足利將軍にゆだねられたことを意味する。
- (4) 徳川家康が「新田殿」とよばれることが將軍であることの大義名分となったのは、「平家」語りに代わって太平記が当道の中心として機能しはじめたためである。
- (5) 足利政権の権力の源泉として「平家」の物語があったため、足利政権はこれを管理することを志向し、その一環として「平家」語りの正本の所蔵と当道の保護をおこなった。

〈記述式〉 現代文 (一)～(七) 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

* (注) ブッシュ大統領——アメリカ合衆国第41代大統領ジョージ・H・W・ブッシュ。

左翼ゲリラM19——極端な社会主義的主張を掲げ、大使館占拠などの事件を度々起こしたが、一九九〇年に合法政党化された。

新左翼的思想——資本主義体制だけではなく従来の社会主義体制をも批判し、より直接的な行動で新たに革命を目指すとする思想。

ルーブル合意——当時進行していたドルとマルク安に対処するための国際的な合意。

世界湖沼環境会議——世界の湖沼とその周辺で起こっている環境問題に関する国際会議。

一九八四年の会議が第一回で、環境問題の解決に向けた方針を表明

した「琵琶湖宣言」が採択された。

ブレトンウッズ体制——ドルの価値を基盤として国際的な通貨価値を定めた、アメリカ中心の経済体制。

現在——本文が発表されたのは二〇〇〇年である。

ガジェット——目新しい道具や製品のこと。特別な機能を備える電子機器を指すことが多い。

デリバティブ商品——将来的な価格変動のリスク回避を目的として、商品や株式、資産などの現物価格と相対的に価格が決定される予約取引の一種。

スターリニズム——スターリン主義。スターリン個人の思想や行動を背景とした全体主義。宇宙飛行士コマロフ大佐——ウラジーミル・コマロフ。一九六七年のソユーズ1号の事故で

死亡。宇宙事故での最初の犠牲者とされる。死後、国家に貢献した存在として英雄視された。

レーニン廟——レーニンの死後、モスクワ中心部に建てられた、レーニンの遺体を祀る施設。

設。

〈記述式〉

- (一) 片仮名傍線部(1)～(5)について、それぞれ漢字二文字に直して記せ。
 - (1) キョウケン (2) ショウチョウ (3) オウブン
 - (4) チョウシヨウ (5) クンリン
- (二) 波線部(1)～(4)の漢字について、それぞれその読みを平仮名で記せ。
 - (1) 膨大 (2) 忌避 (3) 瀕死 (4) 帰依
- (三) 点線部(あ)～(お)について、それぞれその読みを平仮名で記せ(漢字部分の読みだけを記入すること)。
 - (あ) 蝕まれ (い) 見做され (う) 阿る
 - (え) 司ら (お) 絡まって
- (四) 空欄 I に入る言葉として、本文の論旨に照らして、最も適当なもの十字以上十二字以内で本文中から抜き出せ。
- (五) 本文中での〈消費社会〉に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次からひとつ選び、番号で記せ。
 - (1) 人間的であったものまでが商品化され、その経済的価値ばかりが重視されるようになった結果、科学や工業技術の進歩が本来目的としていた筈の人間の幸福という要素がそこから疎外されてしまった。
 - (2) 何らかの超越的な存在を希求し、自己の死をユートピアへの階段として捉えるという従来の宗教的な意識は、物質的・経済的な価値を第一義とする消費経済の伸張と共に次第に後退することになった。
 - (3) 政治・社会問題をめぐるダブル・バインドに直面した結果、現在の日本国民は、政治体制の変革や交代を要求することなく、消費社会に

流通するイメージを消費する志向ばかりを強めることになった。

(4) 個々の人間存在も消費社会の一因子に過ぎないとする価値観を生んだ要因の一つは、近代の産業社会の基盤となった概念が、時代の変化に対応せずに、旧態依然とした形で維持されてきたことにある。

(5) 南北アメリカの資本主義社会の様々な社会問題は、各国の経済状況や政治姿勢と緊密に関連して発生しているのだが、そこでは国家や地域の境界を超えたボーダレスエコノミーの状況が発動しつつある。

(六) 本文の趣旨に沿うものとして、最も適当なものを次からひとつ選び、番号で記せ。

(1) フィリップ・アリエスは、「死は後退した」という言葉において、近代以前の個人は、本人が属する共同体の内部で自らの死の意味が保証され公的に認知されることにより、死からの隔絶を免れていたことを示唆している。

(2) 一九六五年以降、日本では経済の飛躍的發展により次第に所得や税収が増え、商品の大量流通と消費を前提とした経済構造が成立したのであり、現在では消費社会の因子として個々の人間存在が物質化されるまでに至った。

(3) 商品市場の論理が社会全体に拡張した現代の産業社会では、死にゆく個人が自らの死の権利を随意的に行使できなくなってしまうという「死の商品化」が起き、その結果、人間は自己の生の拠り所を喪失することになった。

(4) 一九八〇年代の南アメリカの政治的動乱は、従来の世界秩序が崩壊する初期段階を象徴的に体现する事象であったので、国家の枠を超え

た協力関係の樹立を目指すサミット等の国際会議はその有効な解決策にならなかった。

(5) 現代人は、現実を超えて自己を解放し、死を物質化するための宗教的なユートピアを喪失しつつあるが、資本主義のみならず社会主義体制下においても、その喪失の形態こそ異なるが、同様の事態が生起していたと言える。

(七) 二重波線部(イ)の〈社会内存在としての商品の在り方の変化〉はどのようなものであったのか。その在り方の変化を大きく二つに分けて、本文の三十年ほど前(一九六〇～七〇年代)の商品の在り方と比較しながら、それぞれ五十文字以上七十文字以内で具体的に記せ。なお、本文中の語句は用いてよいが、本文からの抜き出しのみ、あるいは本文から抜き出した文章を組み合わせただけの解答は認められない。

〈記述式〉 古文 (一) (二) 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

* (注)

雲州——出雲国。現島根県東部。戦国時代尼子氏の領地だった。

芸州——安芸国。現広島県南部。戦国時代毛利氏の領地だった。

尾州——尾張国。現愛知県西部。戦国時代織田氏の領地だった。

明智日向守——明智光秀。織田信長の重臣。

陪臣——家来の家来。山中の方が野々口より身分は上になる。

茅屋——あばら家。

駕を枉げ——来訪する。

男役——男として晴れがましい役目。

心ばせある——気心の強い。

御辺——あなた。

首供養——獲った敵の首を供養するため、相手の勇武と自らの武功を語る行事か。

内胃——甲(かぶと)の内側の眉間の当たり。急所。

〈マークセンス〉

6

傍線部 a ~ c の「べし」の意味の組み合わせとして最も適当なものは次のどれか。

- | | | | |
|-----|------|------|------|
| (1) | a 意志 | b 可能 | c 適当 |
| (2) | a 推量 | b 適当 | c 意志 |
| (3) | a 可能 | b 意志 | c 適当 |
| (4) | a 意志 | b 適当 | c 可能 |
| (5) | a 推量 | b 意志 | c 可能 |

7

傍線部 1 で、なぜ明智も、山中同様笑ったのか。その理由として最も不適当なものは次のどれか。

- (1) 明智の誘いを断ったことを意外に感じていたから。
- (2) 明智の誘いを断ったことをやむを得ないと思っていたから。
- (3) 明智の誘いを断ったことを小さなことと思っていたから。
- (4) 明智も何としても山中に家に来てほしいと思っていたから。
- (5) 明智の誘いを断った時に山中が笑ったことにつられたから。

8

傍線部 2 「夜の明けたるが如し」とは具体的にはどういう意味か。その説明として最も適当なものは次のどれか。

- (1) しだいに重圧から解放され気分が明るくなった。
- (2) しだいに事態を正確に把握できるようになった。
- (3) しだいに風景がはっきりと見えるようになった。
- (4) しだいに事件の意味が理解できるようになった。
- (5) しだいに希望が見えて心はずむようになった。

〈記述式〉

(一) 空欄A～Eに入る言葉として、本文の論旨に照らして、最も適当なものをそれぞれ次の中から一つずつ選び、その番号を記せ。

- | | | | | | |
|---|--------|----------|---------|----------|-----------|
| A | (1) 盟約 | (2) 契約 | (3) 先約 | (4) 密約 | (5) 確約 |
| B | (1) 瞭然 | (2) 朦朧 | (3) 雜然 | (4) 漠然 | (5) 歴然 |
| C | (1) 智 | (2) 仁 | (3) 忠 | (4) 勇 | (5) 義 |
| D | (1) 偽り | (2) 怯え | (3) 迷ひ | (4) 誤り | (5) 憂ひ |
| E | (1) 広く | (2) 喜ばしく | (3) 心細く | (4) 恐ろしく | (5) 末頼もしく |

(二) 二重傍線部「詞を飾りて虚名をとる」とはどういう行為か。それを最も具体的に示した箇所「最初と最後を、本文中から三文字ずつ抜き出せ。

(三) 以下は波線部「我が言ふ所」の内容の具体的な説明である。空欄1～3に適当な漢字二文字をそれぞれ補え。

最初から(1)に戦える武士がいるわけではない。最初は恐怖と重圧の中、(2)夢中で戦うものだ。しかし、何度も戦場を(3)するうちに、(1)に戦えるようになるものなのだ。

〈記述式〉 漢文 (一) (二) 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

* (注) 照公——徳川家康。

本多正信——家康の家臣。

西師——西軍。関ヶ原の戦いにおける徳川方(東軍)の敵。

捷——勝利。

内藤正成——家康の家臣。

井伊兵部——井伊直政。家康の家臣。

福島左衛門——福島正則。東軍の武将。

マークセンス

9

空欄1〜3に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものは次のどれか。

- (1) 1 勇 2 耳 3 処女
- (2) 1 愚 2 目 3 聖女
- (3) 1 怯 2 目 3 処女
- (4) 1 愚 2 耳 3 聖女
- (5) 1 怯 2 目 3 悪女

10

二重傍線部「吾未見其全捷也」のように本多正信が、主君家康の全面的な勝利の見込みがないと考えた理由として最も適当なものは次のどれか。

- (1) 敵の軍勢は味方の二倍もあり、敵方の武将は年をとった者が多かったから。
- (2) 敵の軍勢は味方の四倍もあり、敵方の武将は戦に馴れた者が多かったから。
- (3) 敵の軍勢は味方の二倍もあり、敵方の武将は戦に馴れた者が多かったから。
- (4) 敵の軍勢は味方の二倍もあり、敵方の武将は戦略を自在に変える者が多かったから。
- (5) 敵の軍勢は味方の四倍もあり、敵方の武将は年をとった者が多かったから。

〈記述式〉

- (一) 傍線部(1)〜(4)を現代語訳せよ。ただし、傍線部(1)は「主公」「之」の内容を具体的に記すこと。
- (二) 波線部に正しい返り点を付けよ。
- (三) 二重波線部の現代語訳として正しいものは次のどれか、番号で記せ。
 - (1) すこし以前から
 - (2) かなり経ってから
 - (3) とつくのうちに
 - (4) あつという間に
 - (5) そうこうするうちに